

育林省力化技術開発促進事業（継続）

【平成24年度概算決定額 12,239（24,477）千円】

事業のポイント

育林工程の省力化に向けた技術や機械を開発し、分析・評価を行い、それらの改善・改良に反映させます。

<背景／課題>

- ・ 育林工程において大きなコストを占めている人件費の削減を図るため、作業を省力化することが重要な課題となっています。
- ・ 作業を省力化する機械の開発やその実用化が課題となっています。

政策目標

効率的かつ安定的な林業経営を担いうる者による造林・保育面積
現状：約6割（平成17年）→目標：約7割（平成27年）に増加

<内容>

開発された育林体系の分析と評価

開発された育林体系・機械の実用化を促進するため、様々な条件下の林業事業体へ育林体系・機械を導入し、現地での適用結果について分析・評価を行い、育林体系・機械の改良に反映させます。

<補助率>

定額

<事業実施主体>

民間団体

<事業実施期間>

平成23年度～25年度（3年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]